

観光対策としてのトイレ改修補助制度の創設について（新規）

桐生市が力を入れている観光誘客に欠かせないのがトイレの整備です。桐生八木節まつりや桐生ファッションウィーク等大規模な行事では入り込み客も多く、トイレの需要が急増します。現状、中心市街地で利用可能なトイレが限られ、対応し切れておらず、トイレ不足が集客を増やすネックになっています。

商店街などの商業店舗は店舗併用住宅になっていることが多く、トイレも共通となっていることや和式トイレであること等により観光客へ貸与することを躊躇する事業者も多数おられます。しかしながら、トイレ目的で商店などを利用いただくことで店主との会話が生まれることや品ぞろえを周知する良い機会につながることから、トイレ改修を積極的に行っていくことが商業振興につながるものと思われまますので、改修を後押しするための補助制度を要望いたします。

桐生市からの回答

観光客や買物客が長時間中心市街地に滞留することで、観光誘客の増加や、商店の売上拡大、まちなかの賑わい創出につながるものと考えており、ご指摘のありました商店街におけるトイレの整備につきましては、中心市街地への来訪者の回遊性を高め、長時間の滞留を可能にするために有効な手段であると認識しております。

本市では、既存店舗の改装につきましては、市内企業の円滑な事業承継を促進し、まちなかの魅力向上と賑わい創出、経済循環等の拡大を目的とし、事業承継を伴った取組について支援してきたところですが、商店街等と連携しながら誰でも自由に利用できるトイレを設置しようとするなど、中心市街地活性化に資する整備にご協力をいただける商店への支援制度の整備についても検討してまいりたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課商業金融担当